



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月30日

上場会社名 大同特殊鋼株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5471 URL <https://www.daido.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石黒 武
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 鈴木 英男 (TEL) 052-963-7501
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	179,490	△28.9	△3,531	—	△2,112	—	△2,318	—
2020年3月期第2四半期	252,476	△6.4	13,711	△18.2	13,711	△22.0	11,257	4.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 4,046百万円(△48.5%) 2020年3月期第2四半期 7,863百万円(△32.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△54.39	—
2020年3月期第2四半期	264.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	621,997	312,050	44.5
2020年3月期	625,899	309,136	43.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 276,815百万円 2020年3月期 273,561百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	55.00	—	15.00	70.00
2021年3月期	—	10.00			
2021年3月期(予想)			—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	390,000	△20.5	2,000	△91.9	3,500	△85.6	500	△95.4	11.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期2Q	43,448,769株	2020年3月期	43,448,769株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	820,787株	2020年3月期	820,446株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期2Q	42,628,168株	2020年3月期2Q	42,629,272株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
3. 補足説明資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況で推移しました。足元では、新型コロナウイルスの感染者数が減少傾向となり、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、個人消費や鉱工業生産は持ち直しているものの、国内外の感染症動向や金融資本市場の変動等、依然として先行きは不透明な状況が継続しております。

このような経済環境の中、特殊鋼の主要需要先である自動車関連の受注は、第1四半期を底に回復基調にあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響による世界各地での自動車販売減少と、それに伴う日系自動車メーカーの車両生産減少を受け、前年同期比で減少しました。産業機械の受注も経済活動の停滞で減少しましたが、半導体関連の受注は設備投資の回復により増加しました。この結果、鋼材売上数量は前年同期比で減少しました。一方、原材料・資材関係については、鉄屑価格は国内需給の緩和により前年同期よりも安値で推移し、また製鋼工程で使用する黒鉛電極等の副資材価格も下向きました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高は前年同期比729億85百万円減収の1,794億90百万円、経常損益は前年同期比158億23百万円減益の21億12百万円の損失、親会社株主に帰属する四半期純損益は前年同期比135億76百万円減益の23億18百万円の損失となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車関連や産業機械向けの受注減少を受け、前年同期比で数量が減少しました。工具鋼も、自動車関連の受注減少を受け、前年同期比で数量が減少しました。主要原材料である鉄屑価格は、国内需給の緩和により安値で推移し、また製鋼工程で使用する黒鉛電極等の副資材価格も下向きました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は、売上数量の減少により前年同期比38.4%減少の598億34百万円、営業損益は前年同期比61億99百万円減益の29億84百万円の損失となりました。

②機能材料・磁性材料

ステンレス鋼および高合金は、半導体関連の受注では設備投資の回復により増加しましたが、自動車関連や産業機械向けの受注は減少し、前年同期比で数量が減少しました。磁石製品は国内外の、粉末製品は海外の自動車関連需要の減少により、売上高が減少しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の機能材料・磁性材料の売上高は、売上数量の減少により前年同期比23.5%減少の648億6百万円、営業利益は前年同期比47億70百万円減益の21億75百万円となりました。

③自動車部品・産業機械部品

自由鍛造品は、半導体関連や重電需要が好調に推移しましたが、航空機需要等が減少し、売上高は前年同期比で減少しました。エンジンバルブ部品・型鍛造品は自動車生産の減少を受け、売上高は前年同期比で減少しました。精密鋳造品は、自動車生産の減少に伴うターボ関連製品の需要が減少し、売上高は前年同期比で減少しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の自動車部品・産業機械部品の売上高は、売上数量の減少により前年同期比27.8%減少の360億50百万円、営業損益は前年同期比47億16百万円減益の40億96百万円の損失となりました。

④エンジニアリング

自動車部品向け熱処理炉受注の減少およびメンテナンス事業の案件減少により、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比17.0%減少の102億65百万円、営業利益は前年同期比10億34百万円減益の4億89百万円となりました。

⑤流通・サービス

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比1.9%増加の85億33百万円、営業利益は前年同期比5億31百万円減益の8億77百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ39億2百万円減少し6,219億97百万円となりました。総資産の増加の主な内訳は、「現金及び預金」の増加202億31百万円、「投資有価証券」の増加87億67百万円、減少の主な内訳は、「受取手形及び売掛金」の減少216億58百万円、「たな卸資産」の減少106億23百万円です。

「現金及び預金」は、新型コロナウイルス感染症に伴う事業や金融環境の変化に対応するため手元資金の流動性を高めたことにより増加しました。「投資有価証券」は、保有株式の時価の上昇等により増加しました。「受取手形及び売掛金」および「たな卸資産」は、主として売上減少により減少しました。

また、当社グループの当第2四半期連結会計期間末の非支配株主持分を含めた純資産額は、前期末に比べ29億14百万円増加し3,120億50百万円となりました。純資産の増加の主な内訳と要因は、保有株式の時価の上昇等による「その他有価証券評価差額金」の増加68億84百万円、減少の主な内訳と要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失23億18百万円の計上等による「利益剰余金」の減少30億68百万円です。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は44.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、先行きは依然として不透明な状況ではありますが、経済活動が段階的に進められるなかで、持ち直しの動きが続くことが期待されます。当社の主要需要先である自動車関連の受注は、第1四半期を底に回復基調となりましたが、第3四半期以降も世界自動車販売が回復することが想定されており、この傾向は継続するものと見込まれます。産業機械の受注も、経済活動の回復により増加基調へ転ずることが見込まれますが、航空機需要等一部の分野では回復に時間が掛かると見込んでいます。このような環境下、新型コロナウイルスの感染防止に努めるとともに、固定費を中心とした徹底的なコスト圧縮策を推し進めた事業活動を引き続き図ってまいります。

通期の業績につきましては、足元の受注状況及び世界経済の回復が継続すると仮定し、売上高3,900億円、営業利益20億円、経常利益35億円、親会社株主に帰属する当期純利益5億円と見込んでいますが、新型コロナウイルスの感染が再拡大し、世界経済に深刻な影響を与えた際は変動する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,558	79,789
受取手形及び売掛金	102,254	80,596
電子記録債権	16,027	13,139
たな卸資産	127,174	116,550
その他	5,721	6,726
貸倒引当金	△93	△79
流動資産合計	310,641	296,723
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	83,464	83,702
機械装置及び運搬具(純額)	101,976	104,237
その他(純額)	52,051	50,062
有形固定資産合計	237,492	238,002
無形固定資産		
	1,619	2,185
投資その他の資産		
投資有価証券	65,330	74,097
退職給付に係る資産	5,262	5,571
その他	5,728	5,549
貸倒引当金	△175	△133
投資その他の資産合計	76,145	85,085
固定資産合計	315,257	325,274
資産合計	625,899	621,997

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,828	29,936
電子記録債務	25,993	17,777
短期借入金	80,927	89,828
コマーシャル・ペーパー	17,000	—
未払法人税等	2,861	1,624
賞与引当金	7,576	7,424
その他の引当金	2,691	1,703
その他	20,540	17,508
流動負債合計	198,419	165,804
固定負債		
社債	35,000	35,000
長期借入金	59,508	81,126
その他の引当金	3,633	4,911
退職給付に係る負債	10,762	11,333
その他	9,438	11,770
固定負債合計	118,344	144,142
負債合計	316,763	309,946
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	30,449	30,449
利益剰余金	212,136	209,068
自己株式	△3,656	△3,657
株主資本合計	276,101	273,032
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,415	11,299
繰延ヘッジ損益	△3	△47
土地再評価差額金	1,537	1,537
為替換算調整勘定	712	△229
退職給付に係る調整累計額	△9,203	△8,778
その他の包括利益累計額合計	△2,539	3,783
非支配株主持分	35,574	35,235
純資産合計	309,136	312,050
負債純資産合計	625,899	621,997

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	252,476	179,490
売上原価	210,167	158,495
売上総利益	42,309	20,994
販売費及び一般管理費	28,597	24,526
営業利益又は営業損失(△)	13,711	△3,531
営業外収益		
受取利息	99	77
受取配当金	975	799
雇用調整助成金	—	2,493
持分法による投資利益	375	56
その他	432	804
営業外収益合計	1,882	4,232
営業外費用		
支払利息	418	418
環境対策引当金繰入額	295	1,342
固定資産除却損	326	377
為替差損	222	257
その他	619	417
営業外費用合計	1,882	2,813
経常利益又は経常損失(△)	13,711	△2,112
特別利益		
投資有価証券売却益	33	38
固定資産売却益	7,441	—
特別利益合計	7,474	38
特別損失		
固定資産圧縮損	2,772	—
投資有価証券評価損	667	—
その他	259	—
特別損失合計	3,699	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	17,485	△2,073
法人税、住民税及び事業税	5,611	1,167
法人税等調整額	105	△1,016
法人税等合計	5,717	151
四半期純利益又は四半期純損失(△)	11,768	△2,225
非支配株主に帰属する四半期純利益	511	93
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	11,257	△2,318

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	11,768	△2,225
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,752	6,890
繰延ヘッジ損益	△23	△43
為替換算調整勘定	△647	△1,022
退職給付に係る調整額	△456	460
持分法適用会社に対する持分相当額	△25	△12
その他の包括利益合計	△3,905	6,272
四半期包括利益	7,863	4,046
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,387	4,095
非支配株主に係る四半期包括利益	475	△48

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	17,485	△2,073
減価償却費	12,022	12,794
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15	△56
賞与引当金の増減額(△は減少)	△93	△146
その他の引当金の増減額(△は減少)	△315	290
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△817	168
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	429	754
受取利息及び受取配当金	△1,074	△877
支払利息	418	418
為替差損益(△は益)	24	96
持分法による投資損益(△は益)	△375	△56
投資有価証券売却損益(△は益)	△33	△38
投資有価証券評価損益(△は益)	667	—
有形固定資産除却損	492	379
有形固定資産売却損益(△は益)	△7,609	△6
固定資産圧縮損	2,772	—
売上債権の増減額(△は増加)	10,575	24,191
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,101	10,213
仕入債務の増減額(△は減少)	△18,828	△18,763
その他	△993	△1,699
小計	19,832	25,589
利息及び配当金の受取額	1,275	931
利息の支払額	△440	△394
法人税等の支払額	△5,610	△2,781
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,057	23,344
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△422	△498
定期預金の払戻による収入	78	497
有形固定資産の取得による支出	△27,387	△14,921
有形固定資産の売却による収入	8,077	12
投資有価証券の取得による支出	△717	△7
投資有価証券の売却による収入	37	63
貸付けによる支出	△21	△13
貸付金の回収による収入	19	15
その他	△418	△689
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,755	△15,541

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△7,578	5,863
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	12,000	△17,000
長期借入れによる収入	11,758	25,522
長期借入金の返済による支出	△12,487	△679
社債の発行による収入	15,000	—
社債の償還による支出	△10,000	—
自己株式の取得による支出	△2	△1
子会社の自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△2,769	△644
非支配株主への配当金の支払額	△462	△286
その他	△169	△201
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,289	12,571
現金及び現金同等物に係る換算差額	△175	△470
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△583	19,903
現金及び現金同等物の期首残高	40,728	57,843
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	4,970	328
現金及び現金同等物の四半期末残高	45,115	78,075

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	97,117	84,693	49,928	12,361	8,375	252,476	—	252,476
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	30,643	8,115	11,534	462	6,752	57,509	△57,509	—
計	127,761	92,808	61,463	12,824	15,128	309,986	△57,509	252,476
セグメント利益	3,215	6,946	620	1,524	1,409	13,715	△3	13,711

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	59,834	64,806	36,050	10,265	8,533	179,490	—	179,490
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	21,378	5,324	8,457	224	5,914	41,300	△41,300	—
計	81,213	70,131	44,508	10,490	14,447	220,790	△41,300	179,490
セグメント利益 又は損失(△)	△2,984	2,175	△4,096	489	877	△3,538	6	△3,531

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 補足説明資料

(1) 当第2四半期のセグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円、%)

	売上高		営業利益	
	2020年9月 第2四半期	前年同期差 増減額 (増減率)	2020年9月 第2四半期	前年同期差 増減額
特殊鋼鋼材	59,834	-37,282 (-38.4%)	△2,984	-6,199
機能材料・磁性材料	64,806	-19,886 (-23.5%)	2,175	-4,770
自動車・産業機械部品	36,050	-13,878 (-27.8%)	△4,096	-4,716
エンジニアリング	10,265	-2,096 (-17.0%)	489	-1,034
流通・サービス	8,533	157 (1.9%)	877	-531
調整	—	—	6	10
計	179,490	-72,985 (-28.9%)	△3,531	-17,243

(2) 要約連結損益計算書(四半期累計期間)

(単位：百万円、%)

	2020年9月 第2四半期	前年同期差 増減額 (増減率)
売上高	179,490	-72,985 (-28.9%)
営業利益	△3,531	-17,243 (-%)
営業外損益	1,419	1,419
経常利益	△2,112	-15,823 (-%)
特別損益	38	-3,735
税引前純利益	△2,073	-19,559
法人税等	151	-5,565
非支配株主に帰属する 当期純利益	93	-418
親会社株主に帰属する 当期純利益	△2,318	-13,576 (-%)

(鋼材売上数量(単体) 378千t、前年同期差 247千t減)

(3) 当第2四半期の経常利益増減要因(前年同期対比)

(単位：億円)

(参考：原料・為替市況)

増益要因	金額	減益要因	金額		2019年9月 第2四半期	2020年9月 第2四半期
1. 原燃料等市況	108	1. 販売数量減少	180	H2 建値 (千円/t)	23.3	17.9
2. 固定費の改善	46	2. 販売価格下落	73	ニッケル(LME) (\$/1b)	6.3	6.0
3. 営業外損益	14	3. 内容構成差他	55	為替レート(TTM) (円/\$)	109.6	107.9
		4. 変動費の悪化	18			
計(a)	168	計(b)	326			
		差引(a)-(b)	-158			

(4) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 2020年 3月末	当第2四半期 2020年 9月末	増減	科目	前期 2020年 3月末	当第2四半期 2020年 9月末	増減
流動資産	310,641	296,723	-13,918	負債	316,763	309,946	-6,816
現預金	59,558	79,789	20,231	営業債務	66,821	47,714	-19,107
営業債権	118,281	93,735	-24,546	有利子負債	193,881	207,302	13,421
たな卸資産	127,174	116,550	-10,623	その他	56,060	54,929	-1,131
その他	5,627	6,647	1,019				
固定資産	315,257	325,274	10,016	純資産	309,136	312,050	2,914
有形固定資産	237,492	238,002	509	株主資本	276,101	273,032	-3,069
無形固定資産	1,619	2,185	565	その他の包括利益 累計額	△2,539	3,783	6,322
投資その他の資産	76,145	85,085	8,940	非支配株主持分	35,574	35,235	-339
資産合計	625,899	621,997	-3,902	負債純資産合計	625,899	621,997	-3,902

(5) 予想セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円、%)

	売上高		営業利益	
	予想 2021年 3月期	前期差 増減額 (増減率)	予想 2021年 3月期	前期差 増減額
特殊鋼鋼材	135,000	-46,674 (-25.7%)	△4,500	-9,648
機能材料・磁性材料	142,000	-25,356 (-15.2%)	8,700	-4,938
自動車・産業機械部品	79,000	-18,343 (-18.8%)	△4,100	-4,530
エンジニアリング	20,000	-6,583 (-24.8%)	500	-2,460
流通・サービス	14,000	-3,463 (-19.8%)	1,400	-1,181
調整	—	—	—	-9
計	390,000	-100,421 (-20.5%)	2,000	-22,768

(鋼材売上数量(単体) 922千t、前期差 254千t減)

(6) 業績予想

(単位：百万円、%)

	予想 2021年 3月期	前期差 増減額 (増減率)
売上高	390,000	-100,421 (-20.5%)
営業利益	2,000	-22,768 (-91.9%)
経常利益	3,500	-20,798 (-85.6%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	500	-10,487 (-95.4%)

(7) 予想経常利益増減要因 (前期対比)

(単位：億円)

(参考：原料・為替市況)

増益要因	金額	減益要因	金額	前期 2020年3月期	予想 2021年3月期
1. 原燃料等市況	152	1. 販売数量減少	223	H2 建値 (千円/t)	20.6
2. 固定費の改善	72	2. 販売価格下落	115		
3. 営業外損益	20	3. 内容構成差他	98		
		4. 変動費の悪化	16		
計 (a)	244	計 (b)	452	ニッケル(LME) (\$/lb)	6.3
		差引 (a) - (b)	-208	為替レート(TTM) (円/\$)	109.7

(8) 設備投資額 (工事ベース) および減価償却費

(単位：百万円)

	前期(2020年3月期)		当期(2021年3月期)		増減額	
	上半期	通期	上半期	通期予想	上半期	通期
設備投資額	22,092	37,529	13,955	25,900	-8,137	-11,629
減価償却費	12,022	24,662	12,794	26,000	772	1,337

(参考) 業績の推移

(単位：百万円)

	実績				予想
	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
売上高	445,122	505,219	543,255	490,421	390,000
営業利益	25,513	36,218	33,815	24,768	2,000
経常利益	26,373	36,130	34,343	24,298	3,500
親会社株主に帰属 する当期純利益	16,386	23,920	21,182	10,987	500